

授業科目(ナンバリング)	世界文化遺産論 (AC211) (実践的教育科目)			担当教員	川上 直彦 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
文化遺産がユネスコ世界文化遺産に登録されるまでのユネスコの枠組み等に関して理解を深め、そして、ユネスコ世界文化遺産に登録されている世界文化遺産を年代が古い順、具体的には、人類の進化論、人類最古の農耕畜産の起源、人類最古の都市や領域国家の出現等とそれらの歴史的背景とを関連させて紹介し、毎回の予習と小テストを通じて勉強していくことにより、人類にとってのユネスコ世界文化遺産への登録の重要性、限界、改善の必要性等について考察し、理解と専門知識を深めることを目的とする。							①⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	ユネスコ世界文化遺産とその活動に関して基礎から専門的知識までを理解し、ユネスコ世界文化遺産の枠組みを超えて、人類のかけがえのない記憶である世界文化遺産に関する事項について説明することができる。				小テスト 確認テスト 授業参加度・態度	20% 20% 15%	
情報収集、分析力							
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力	社会人としてユネスコ世界文化遺産に関する基礎知識と教養を身につけ、異文化の理解と人類共有の文化遺産について論述することができる。				小テスト 確認テスト 授業参加度・態度	20% 10% 15%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> ・授業参加度・態度は、遅刻や授業中の私語などがなく、毎回の小テストを60点以上取得すれば毎回2点付与し、全体の30%とする。 ・講義内容について、毎回小テストを課し、平均点を全体の40%として評価する。 ・毎回の小テストのフィードバックは、マナバを通じて実施する。 ・確認テストの評価を成績の30%とし、基本概念や用語の理解ができているかを評価する。 							
授業の概要							
文化遺産に関する実務経験を有する担当教員が現場で得た知識と経験を活かしながら、「予習」を課し、毎回の小テストをつうじた、「省察」と「能動的学修」の喚起により世界文化遺産への学びを深めていく。はじめにユネスコ世界文化遺産に登録されるまでのユネスコの枠組み等に関して理解を深め、その後、ユネスコ世界文化遺産に登録されている、世界文化遺産を年代が古い順に、その歴史的背景と関連させて紹介し、勉強していく。具体的には、①人類の進化論と関連ユネスコ世界文化遺産、②人類最古の農耕・畜産の起源と関連ユネスコ世界文化遺産、③人類最古の都市国家と関連ユネスコ世界文化遺産、④人類最古の帝国と関連ユネスコ世界文化遺産に関して講義を展開する。講義内容が十分に理解できるように、DVD等の視聴覚教材を用いる。また、ユネスコ世界文化遺産の枠をこえて、ユネスコ世界文化遺産に登録されていない、遺跡、遺物、芸術作品などの文化財と、そしてそれらを展示・保存している博物館を題材にした講義もDVD等の視聴覚教材を用いて展開する。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教科書・参考書							
教科書：特に定めないが講義時のプリント等をレジュメとしてこれに替える。 参考書：適宜プリントを配布する。 指定図書：『世界の歴史1：人類の起源と古代オリエン特』（大貫良夫・前川和也・渡辺和子・屋形復貞、中央公論社）							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> ・世界文化遺産に関するニュースや新聞記事を注視してほしい。 ・文化財全般に関心を持ち、遺跡や博物館・美術館を観光する機会を持ってほしい。 							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	はじめに シラバス説明	・授業全体の導入と説明。 ・小テスト	予習：シラバスを読んでくる 復習：今回の復習
2	ユネスコ世界文化遺産について (1)	・ユネスコ世界文化遺産論を考える視点 ・ユネスコ世界遺産の理念と制度（背景・歴史・目的・意義等）について学ぶ (1) ・小テスト	予習：ユネスコという言葉进行调查、理解する 復習：今回の復習
3	ユネスコ世界文化遺産について (2)	・ユネスコ世界遺産の理念と制度（背景・歴史・目的・意義等）について学ぶ (2) ・小テスト	予習：ユネスコという言葉进行调查、理解する 復習：今回の復習
4	人類の進化論とユネスコ世界文化遺産 (1)	・アフリカにおける猿人と原人の出現・進化 ・小テスト	予習：猿人と原人という言葉进行调查する 復習：今回の復習
5	人類の進化論とユネスコ世界文化遺産 (2)	・パロントロプス属と原人の出現 ・小テスト	予習：パロントロプス属と原人という言葉进行调查する 復習：今回の復習
6	人類の進化論とユネスコ世界文化遺産 (3)	・アフリカにおける旧人と新人の出現・進化と全世界への拡散 ・小テスト	予習：旧人と新人という言葉进行调查する 復習：今回の復習
7	人類最古の村落の出現とユネスコ世界文化遺産 (1)	・西アジアにおける初期農耕牧畜社会の出現 ・小テスト	予習：ナトゥーフ文化という言葉进行调查する 復習：今回の復習
8	人類最古の村落の出現とユネスコ世界文化遺産 (2)	・西アジアと東地中海における初期農耕牧畜社会の拡散 ・小テスト	予習：チャタルフユク遺跡という言葉进行调查、理解する 復習：今回の復習
9	古代オリエント・東地中海文明とユネスコ世界文化遺産 (1)	・古代メソポタミアにおける人類最古の都市の出現 ・小テスト	予習：ウルク遺跡とスーサ遺跡という言葉进行调查する 復習：今回の復習
10	古代オリエント・東地中海文明とユネスコ世界文化遺産 (2)	・古代メソポタミア・シュメール文明と古代エジプト文明の発達 ・小テスト	予習：シュメール文明、古代エジプトという言葉进行调查する 復習：今回の復習
11	古代オリエント・東地中海文明とユネスコ世界文化遺産 (3)	・古代インダス文明と古代メソポタミアとの海上交易 ・小テスト	予習：アッカド帝国とインダス文明という言葉进行调查する 復習：今回の復習
12	古代オリエント・東地中海文明とユネスコ世界文化遺産 (4)	・古代メソポタミアにおける人類最古の領域国家の出現と興亡 ・小テスト	予習：ウル第3帝国、バビロニアという言葉进行调查する 復習：今回の復習
13	古代オリエント・東地中海文明とユネスコ世界文化遺産 (5)	・古代オリエント世界の全域化、多極化、国際化 (1) ・小テスト	予習：中バビロニア、ミタンニ王国という言葉进行调查する 復習：今回の復習
14	古代オリエント・東地中海文明とユネスコ世界文化遺産 (6)	・古代オリエント世界の全域化、多極化、国際化 (2) ・小テスト	予習：ヒッタイト、新王国時代エジプトという言葉进行调查する 復習：今回の復習
15	古代オリエント・東地中海文明とユネスコ世界文化遺産 (7)	・古代オリエント世界の全域化、多極化、国際化 (3) ・確認テスト（メディアルームにて15分）	予習：新アッシリア、ペルシャ帝国という言葉进行调查する 復習：今回の復習